

季刊

フェリー情報誌(ご自由にお持ちください)

第7号

さんふらわあ



特集

めくもりのある大地へ

さんふらわあ ふらので行く富良野

インタビュー

脚本家

倉本聰さん



さん ふらわあ

このコーナーでは、「さんふらわあ」に関連した話題を紹介します。

【富】 良野市ぶどう果樹研究所が設立されたのは、いまから35年前の1972年のこと。それまで稲作・畑作中心だった富良野で、新たにワイン作りをする目的でぶどう栽培を実施するためです。ワイン生産は、昼夜の温度差が大きい富良野盆地では、酸のしっかりした糖度の高いぶどうができることに着目した試みでした。

手間と研究を重ねた末、75年に試作ワインが完成。76年に「ふらのワイン工場」ができて本格的な生産が始まり、2年後には「ふらのワイン」（赤と白）の販売がスタート。そして研究所設立10周年の82年、モンテセレクション主催「第20回ワールドセレクションワイン部門」でみごと金賞を受賞したのです。以来、現在まで8種類の「ふらのワイン」が誕生していますが、年間約60万本と製造数は控えめ。品種重視のため大量生産はしない方針で、北海道のみの限定品です。

この貴重な「ふらのワイン」が、今年の1月30日から北海道航路に登場した「さんふらわあ ふらの」と「さんふらわあ さっぽろ」の夕方便で限定販売されています！しかもラベルに「さんふらわあ」の絵が描かれている船上だけのオリジナル。乗船の機会に、ぜひお試しあれ!!

さんふらわあ(ヒマワリ)に関連した情報があれば、「さんふらわあ」編集部までご連絡ください。

世界を動かすこと、それが先頭を走るモノの使命。

商船三井は、海運業界の新しい道を切り開いてきました。資源・エネルギー輸送と製品輸送事業を中核とする総合海運企業として、私たちは常に前進を続けます。“私たちが動けば、世界が動く”——世界を牽引するリーディングパワーがここにあります。

www.mol.co.jp

 **商船三井**
Full Speed Ahead